

大介護時代をどう生きる？

人生100年社会へ突入！

なぜ大介護時代なの？

日本は人類が経験したことのない超高齢社会を迎えています。

日本人の平均寿命は男性79歳、女性86歳（2013年時点）

今年は、「団塊の世代」（1947～49年生まれ）が全員、65歳以上に。
10年後の2025年には、高齢者人口が約3700万人になり、高齢化率（65歳以上が総人口に占める割合）は約30%に達します。

2025年（昭和100年・平成37年）には総人口の3割が高齢者に

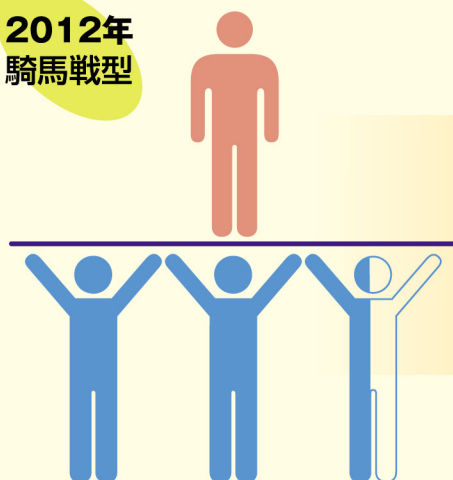
さらに約800万人といわれる団塊の世代が後期高齢者（75歳以上）へ。
世田谷区では、65歳以上の高齢者のうち**56.4%**が後期高齢者へ。

後期高齢者の将来予測は

	現在（2011年）	2020年	2025年
全 国	1645 万人	約 1874 万人	約 2167 万人
世田谷区	8万4300 人	約 9万1000 人	約 10 万人

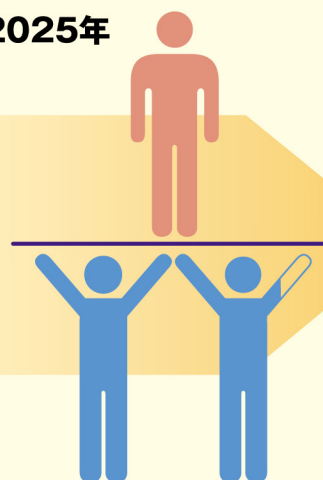
今後さらに高齢化が進み、2050年には、「1人の若者が1人の高齢者を支える」という厳しい社会が訪れることも予想されています。既に、少子高齢化によって「子ども大介護責任世代」が押し寄せているともいえます。

2012年
騎馬戦型



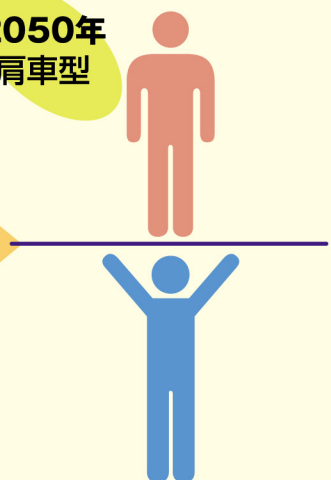
65歳以上1人に対して、
20～64歳は2.4人

2025年



65歳以上1人に対して、
20～64歳は1.8人

2050年
肩車型



65歳以上1人に対して、
20～64歳は1.2人